

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	ねぼりっこ80a、ながいも20a、らっきょう50a、すいか(ハウス)24a、抑制ミニトマト12a
自家労働	3人
その他	ながいもは、集荷場で選別を行う。一部は貯蔵庫で貯蔵して、周年にわたって計画出荷する。

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目 (ムカゴ→種芋)					○~○	—							
2年目 (種芋→成芋)					◎~◎	—							
3年目		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、—栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F)×(G)×利率
作業場	木・瓦	50 m ²	3,150,000	29	910,350	910,350	15	60,690	8	424,830	100	16,993
トラクタ	4WD 25ps	1 台	2,870,640	8	243,275	243,275	7	34,753	4	104,261	20	834
ロータリ	160cm	1 台	475,200	8	40,271	40,271	7	5,753	4	17,259	20	138
堀取り機(トレンチャー)	チェーン式	2.00 台	2,376,000	20	475,200	475,200	7	67,886	4	203,657	100	8,146
土壌消毒機	6条	1 台	475,200	11	51,097	51,097	7	7,300	4	21,898	100	876
管理機	3.5ps	1 台	223,560	20	44,712	44,712	7	6,387	4	19,162	100	766
動力噴霧機	可搬式6ps	1 台	381,880	11	41,062	41,062	7	5,866	4	17,598	100	704
深耕機(トラクターアタッチ)	2条	1.00 台	840,000	20	168,000	168,000	7	24,000	4	72,000	100	2,880
運搬車		1 台	378,000	11	40,645	40,645	7	5,806	4	17,419	100	697
普通トラック	1.5t	1 台	2,230,000	11	239,785	239,785	5	47,957	3	95,914	100	3,837
軽トラック	660cc	1 台	1,050,000	11	112,903	112,903	4	28,226	2	56,452	100	2,258
合計			14,450,480		2,367,300	2,367,300		294,625		1,050,451		38,129

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
ながいも	ねばりっこ	露地	3,200kg	砂丘地	80a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (% / 10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
種芋圃場 (0.48a) 深耕・耕耘	3/上~3/中	稲わら	28.8kg	トリローター トラクタ ロータリ わらかター 管理機	土壌改良といもの伸長促進のため、 深耕・耕耘する。	0.6	1	0.6	軽油 2.6
土 壤 消 毒	3/中	クロールピクリン D-D ポリマルチ	1.4% 0.9%	土壌消毒機 トラクタ	○土壌消毒は処理後すぐに被覆する。 ガスが抜けないうちに、ホリで被覆。 (ポリマルチを反転させて処理) ○ガス抜きを兼ねて基肥を全面施用。	0.2 0.1	1 2	0.2 0.3	ガソリン 0.2 軽油 0.3
基 肥 施 用	4/上	ミネラル宝素 セルカフレンド I B S 1 号	2.9kg 4.8kg 1.9kg	トラクタ ロータリ	○ガス抜き耕耘は2回以上丁寧に行う。	0.4	1	0.6	軽油 1.7
植 え 付 け	4/下	ムカゴ フォース粒剤 アトマイヤー-1粒剤	3,000粒 0.19kg 0.19kg	人力	○畦幅80cm、条間8cm、株間4cm 2条植え(50粒/うねm) ○植え付け時にフォース粒剤、アトマイヤー-1 粒剤を施用する。	0.2	1 3 1	0.4 0.4 0.1	ガソリン 0.2
支柱、ネット	5/上	コンポーズパイプ 支柱 ハリコード黒 ながいもネット	9本 134本 267m 134m	人力	○出芽前に支柱をたて、ネットを張る		2	1.0	
灌 水					○芽焼け防止のため、乾燥しないよう灌 水。降雨時には灌水を控える。 ○夏期の乾燥時には積極的に灌水する ○5月中旬に芽出し肥を施用し、6月中 旬から9回に分けて追肥を行う。 ○追肥は9月上旬で終了する。		1	0.1	
追 肥	5/中~8/下	I B S 1 号 くみあいセラム有機 リン加安F886号	1.4kg 6.7kg 3.8kg	人力			1 1	0.1 0.6	
防 除	6/上~9/上	ダコニール1000 ストロビーフロアブル ジマンタイセン水和剤 バルクトフロアブル コロマイト乳剤 アタブロン乳剤 トレボン乳剤 デルフィン顆粒水和剤 コテツフロアブル	28.8ml 7.2ml 72ml 14.4ml 14.4ml 7.2ml 28.8ml 14.4g 14.4ml	動力噴霧機 軽トラック 人力	○発生予察にもとづき、早期防除の徹 底を図る。 ○梅雨明け後の病害虫の発生に注意し 茎葉の維持に努める。	1.0	2 3	1.2 0.3	ガソリン 1.0
片付け 収穫・保存	10/中~下 1/上~			人力 堀取り機 運搬車 軽トラック	○収穫後、各生産者で保存 子いも1,400個	4.3 0.5 0.5	3	1.4 4.6	ガソリン 8.6 ガソリン 1.0 ガソリン 1.0
後片づけ	2/下			運搬車 軽トラック		0.1 0.1	2	0.2	ガソリン 0.2 ガソリン 0.2

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
本圃 (9.52a) 深耕・耕耘	3/上～3/中	稲わら	600kg	トリローダー トラクタ ロータリ わらカッター	○土壌改良といもの伸長促進のため、 深耕・耕耘する。	12.0 4.0 4.0	1 1 1	12.0 4.0 4.0	軽油 54.0 軽油 26.0 ガソリン 4.0
土 壌 消 毒	3/中	クロールピクリン D-D ポリマルチ	30ℓ 20ℓ	管理機 土壌消毒機 トラクタ	○土壌消毒は処理後すぐに被覆する。 ガスが抜けないうちに、ホリで被覆。 (ポリマルチを反転させて処理) ○ガス抜きを兼ねて基肥を全面施用。	5.0 1.0	1 2	5.0 6.0	ガソリン 5.0 軽油 6.5
基 肥 施 用	4/上	ミネラル宝素 セルカフレンド I B S 1 号	60kg 100kg 40kg	トラクタ ロータリ	○ガス抜き耕耘は2回以上丁寧に行う。	8.0	1	12.0	軽油 36.0
種 芋 処 理	4/中	種芋 ベルコートフロアブル ベンレート水和剤20	800kg 500ml 500g	人力 人力	○種芋の保管は風通しの良い場所を選ぶ。 ○大きさ別に選別、芽なしを取り除く ○ベルコート200倍とベンレートT100倍 液に10分間浸漬し、乾燥後に 植え付ける。		2 2	20.0 16.0	
植 え 付 け	4/下	フォース粒剤 アトマイ-1粒剤 ネマトリエース粒剤	4kg 4kg 20kg	管理機 人力	○畦幅75～80cm、株間27～30cm、 10a 当たり4,400株、覆土10cm。 ○植え付け時にフォース粒剤、アトマイ-1 粒剤、ネマトリエース粒剤を施用する。	4.0	1 3 1	8.0 8.0 1.0	ガソリン 4.0
支 柱 た て	5/上	支柱 P-Pロープ	2,760本 2巻	人力	○支柱をたて、P Pロープをはる。		2	20.0	
栽培管理 つ る 管 理	5/中～7/中 6～7			人力	○つるが支柱とひもに巻き付くように 誘引する。		1	12.0	
灌 水					○萌芽安定のため、乾燥しないよう灌 水。降雨時には灌水を控える。 ○夏期の乾燥時には積極的に灌水する		1	2.0	
追 肥	5/中～8/下	I B S 1 号 NEWレム有機入長芋追肥 燐加安F886号	30kg 140kg 80kg	人力	○5月中旬に芽出し肥を施用し、6月上 旬から9回に分けて追肥を行う。 ○追肥は8月下旬で終了する。		1 1	2.0 12.0	
防 除	6/上～9/上	ガコニール1000 ストロベ-フロアブル ジマンダイセン水和剤 ベルコートフロアブル コロマイト乳剤 アタブロン乳剤 トレボン乳剤 デルフィン顆粒水和剤 コテツフロアブル	600ml 150ml 1500g 300g 300ml 150ml 600ml 300g 300ml	動力噴霧機 軽トラック 人力	○発生予察にもとづき、早期防除の徹 底を図る。 ○梅雨明け後の病害虫の発生に注意し 茎葉の維持に努める。	21.0	2 3 2	24.0 6.0 3.0	ガソリン 21.0
片付け	10/中～下			人力			3	30.0	
収穫調製	10/中～2/中	ダンボール おがくず テープ		堀取り機 運搬車 軽トラック	○計画的に堀り取りを行う。 ○集荷場に持ち込み、洗い、選別、箱 詰作業を行う。	90.0 10.0 10.0	3	95.0	ガソリン 180 ガソリン 20.0 ガソリン 20.0
後片づけ	2/下			運搬車 軽トラック		2.0 2.0	2	4.0	ガソリン 4.0 ガソリン 4.0
合 計								324.9	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	1,411,200	生産量① : 3,200 kg 単価② : 441 円/kg
	主産物価額	0	生産量 : 単価 :
	主産物価額	0	生産量 : 単価 :
	副産物価額④	40,600	増殖用 ^{ムコゴ} 頂芽 生産量 : 3000 粒 単価 : 5 円/粒 3400 本 単価 : 8 円/本
	計 (A)	1,451,800	
生	生産原価	種 苗 費	97,386 種芋(1年子) 4,600本の生産原価(内1200本は子いも、3400本は頂芽(約74%))
		肥 料 費	46,559 使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	105,969 "
		諸 材 料 費	60,682 "
		動力光熱費	66,976
		農 具 費	38,144 機械負担価額×4%
		建物等修繕費	264 建物・構築物負担価額×1%
		賃 料 料 金	0
		共 済 掛 金	0
		雇 用 労 賃	49,466
		減価償却費⑤	149,951 別表のとおり
		土地改良費	3,333
		支払地代⑥	3,548
		小計 (B)	622,279
費	販売費一般 管理費	出荷資材費	56,530
		販 売 諸 費	373,632
		諸税負担金	4,829 農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	3,036 農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	972 借入資本利子率2%
		小計 (C)	438,999
経 営 費 (D)	1,061,278	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	358,150	農 従 労 働 時 間 : 271.5 生産管理労働時間 4.0 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	1,378,828	主産物単位当たり 431 円/kg 注 (E) = (D) + ⑧ - ④	
自己資本	流動資本利子⑨	24,558	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04
利子(F)	固定資本利子	14,807	利子率4%
自 作 地 地 代 (G)	7,333		
全算入生産費 (H)	1,425,527	生産物単位当たり 445 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)	390,522	時間当たり 1,418 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)	27	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100	
農企業利潤 (K)	-14,327	注) (K) = ③ - (H)	
家族労働報酬 (L)	343,823	時間当たり 1,248 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)	32,372	注) (M) = (I) - ⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計						
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下							
種芋栽培管理	2.4					0.6	0.8	1.0		0.6		0.9	1.1	0.3		0.2	1.0	0.2	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.2	0.8															14.5			
深耕・耕耘							8.0	12.0																																			20.0
土壌消毒								17.0																																			17.0
種芋準備										20.0																																	20.0
種芋消毒											16.0																																16.0
基肥施用											12.0																																12.0
植え付け												17.0																															17.0
支柱立て													10.0	10.0																													20.0
栽培管理														2.0		4.0		4.0		4.0																							14.0
追肥														1.0		1.0		2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	1.0																			14.0
防除																	1.0	2.0	4.0	4.0	4.0		6.0	6.0	6.0																		33.0
片付け・収穫・調製	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0																								20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	125.0
後片づけ						4.0																																					4.0
計	7.4	5.0	5.0	5.0	5.0	4.6	8.8	30.0	0.0	12.6	36.0	17.9	11.1	13.3	0.0	5.2	2.0	8.2	6.9	9.9	6.9	2.9	8.8	7.2	6.8	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	326.5			

生産管理労働時間

(4.0)